

2020 年度

シラバス

文教大学附属中学校

第 3 学年

はじめに

◆シラバスとは…

今年度行われる各授業の方針や内容の計画を示したものです。次のように活用してください。
なお、状況に応じて、授業の進度は変更になる場合があります。

◆シラバスの活用方法

- ① 「学習内容」・「アドバイス」の項目を読み、授業を受けるときの指針とする。
- ② 「成績をつけるにあたり考慮すること」を確認し、定期テスト以外にどのような項目が大切かを理解する。
- ③ 授業が次にどの範囲に進むのかを見て、予習に役立てる。
- ④ 到達目標を参考に授業の理解度確かめ、不十分なところを家庭学習で補う。
- ⑤ 定期テストの前に授業内容を振り返り、テスト勉強につなげる。
- ⑥ 来年度の進路を決定するときに、授業内容を検討する資料として役立てる。

2020年度 中学3年生 シラバス

国 語（国語A）	2
（国語B）	5
社 会（歴 史）	9
（公 民）	12
数 学（数学A・スタンダード）	16
（数学B・スタンダード）	20
（数学A・ハイレベル）	24
（数学B・ハイレベル）	28
理 科（理科1分野）	32
（理科2分野）	36
音 楽	39
美 術	41
体 育	43
保 健	47
技術・家庭（技術分野）	51
技術・家庭（家庭分野）	53
英 語	55

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組	教科	国語	科目	国語A
				単位数	3
「学び」の目標とねらい	読み・書き・発表・の基礎・基本を繰り返すことで、ものごとを論理的に理解し、考え、他者に的確に説明するための能力を養う。自分や他者の感情、身の回りで起きていることに気付き、感じ、考える力を養う。				
教材	『国語3』（光村図書） 『書写』（光村図書）				
副教材等	『国語便覧』（浜島書店） 『中学必修テキスト』				

1. 学習内容

- 1 文学的文章の読み方を学びます。登場人物の心情の変化やきっかけを読み取り、時代や状況が変化する中で自分を見つめていく大切さを考えます。
- 2 説明的文章の読み方と文章構成を学び、問題意識を持って、身の回りの事象を見たり考えたりします。
- 3 図書室やインターネットを活用して情報を取捨選択し、よりよい発表の仕方を学びます。
- 4 漢字検定問題集3級の中から範囲を決めて、週1回漢字朝テストを行います。

2. アドバイス

〇一つ一つの学習を丁寧に行うことが国語力アップにつながります。そこで次の6項目を毎日心がけてください。

- 1 授業をしっかり聞き、宿題や予習（語句の意味調べや新出漢字を覚える等）は必ず行うこと。
- 2 教科書のキーワードや大意が分かるようになるまで繰り返し読むこと。
- 3 考えたことや思ったことを書いたり話したりして進んで表現すること。
- 4 板書をノートするだけでなく、教師が話す大事なところや自分の考えをメモすること。
- 5 名作を中心に進んで読書すること。
- 6 毎週行う「漢字朝テスト」の練習は早めに開始し、確実に覚えること。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・朝テスト
- ・宿題、課題
- ・ノート、プリント提出
- ・授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	読		テストの復習 深まる学びへ	学力推移調査の復習 「春に」 「握手」 論語「学びて時にこれを習ふ」	問題の解き方を身につける 身近な自然、自分の気持ちに気づく力を磨く 小説を読み、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ 古典から今に通じる考えを学び、自分の生き方を考える	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	演		表現活動 問題演習(V 模擬対策)	過去問	本文を読解し要約できる	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査	読		視野を広げて	「月の起源を探る」 「俳句の可能性」 「俳句を味わう」 「批評」の言葉をためる 「高瀬舟」	自分のものの見方を広げる。 俳句の形式を理解する。 俳句の情景を味わう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	演		表現活動 問題演習(V 模擬対策)	過去問	登場人物の考え方を理解し、自分の考えをもつ 本文を読解し要約できる	<input type="checkbox"/>
2学期中間考査	読 読		V 模擬の復習 状況の中で	V 模擬の復習 「挨拶」 「故郷」	問題の解き方を身につける。 語句や表現に着目し、作者の意図を読み取る。 登場人物の生き方を知り、自分の生き方について考える。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	演		問題演習	学力推移調査過去問	本文を読解し要約できる	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期期末考査	読		テストの復習 論旨を捉える	学力推移調査の復習 「夏草」 「古典を心の中に」 「作られた『物語』を超えて」 小論文	問題の解き方を身につける。 日本の伝統文化を知る 評論文の構造に注目し読解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	演		意見文 高校入試対策	各種過去問	高校入試に向けて、努力することができる。	<input type="checkbox"/>
3学期学年末考査	演		高校入試対策	各種過去問 「初恋」 「誰かの代わりに」 「私を束ねないで」	問題の解き方を身につける。 筆者の考えを知り、これからの自分の生き方を考える。 語句や表現に着目し、作者の意図を読み取る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	書		表現	表現活動		<input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～4 組	教科	国語	科目	国語 B
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	文法は知識を学ぶだけでなく、それを理解し使いこなせるようにし、読解につながるようにする。古典作品を通じ、当時の世界観を理解する。				
教材	『国語3』(光村図書)、『古文用言・漢文書き下しマスターノート』(数研出版)、『書写』(光村図書)				
副教材等	『国語便覧』(浜島書店) 『必修テキスト』 『中学実力練成のスタンダード』 他、別途問題集を使用します。				

1. 学習内容

○以下の内容を学習します。

- ・文法 … 口語文法の復習・古典文法(用言・助動詞)・漢文句形
- ・文学史 … 上代～近世の文学史
- ・古文、漢文 … 日本を代表する古文(和歌、紀行文)、漢文
本文暗記の確認テストも行います。
- ・書写 … 随時行います。
- ・作文・感想文・手紙文・俳句などの学習を随時行います。

2. アドバイス

- ・口語文法…学力推移に頻出する問題は繰り返し解き、文法部分は満点をねらうこと。
- ・古典はそれぞれの作品と時代背景とを重ねて学習していくと、さらに理解が深まります。
- ・文法の活用の暗記は、繰り返し音読することが一番の早道です。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・小テスト ・宿題、課題 ・ノート、プリント提出
 - ・授業を受ける姿勢
- ※随時、ノート点検を行います。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査			テストの復習	学力推移調査の復習	問題の解き方を身につける。	<input type="checkbox"/>
			文学史	上代～近世の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	<input type="checkbox"/>
			百人一首	6首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。 和歌の意味を理解している。	<input type="checkbox"/>
			口語文法	αスタ・必修テキスト	2年次までを学習内容が問題演習を通して、定着している。	<input type="checkbox"/>
			古典文法	「用言活用ノート」・他	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。	<input type="checkbox"/>
			古文・漢文	αスタ・他	学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査			文学史	上代～近世の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	<input type="checkbox"/>
			百人一首	6首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。 和歌の意味を理解している。	<input type="checkbox"/>
			口語文法	αスタ・必修テキスト	2年次までを学習内容が問題演習を通して、定着している。	<input type="checkbox"/>
			古典文法	「用言活用ノート」・他	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。	<input type="checkbox"/>
			古文・漢文	αスタ・他	学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。	<input type="checkbox"/>
夏休み	宿題	αスタンダード・天声人語・読書ノート・その他				

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	知		文学史	上代～近世の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	<input type="checkbox"/>
			百人一首	6首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。 和歌の意味を理解している。	<input type="checkbox"/>
			古典文法	「用言活用ノート」・他	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。	<input type="checkbox"/>
			古文・漢文	αスタ・他	学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。	<input type="checkbox"/>
			問題演習			<input type="checkbox"/>

2学期期末考査			文学史	上代～近世の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	<input type="checkbox"/>
			百人一首	6首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。 和歌の意味を理解している。	<input type="checkbox"/>
			古典文法	「用言活用ノート」・他	古典の基礎知識・用言の活用を覚える。	<input type="checkbox"/>
			古文・漢文	助動詞 αスタ・他	基礎的な助動詞の意味と活用を覚える 学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。	<input type="checkbox"/>
			書写	行書	正しい筆遣いで文字が書ける。	<input type="checkbox"/>
問題演習			<input type="checkbox"/>			
冬休み	宿題	αスタンダード・天声人語・読書ノート・その他				
3学期学年			文学史	上代～近世の文学史	各時代の代表作品と特徴を理解できる。	<input type="checkbox"/>
			百人一首	6首	上の句を読んでいる間に下の句をとることができる。	<input type="checkbox"/>

			<p>古典文法</p> <p>古文・漢文</p> <p>書写</p> <p>問題演習</p>	<p>「用言活用ノート」</p> <p>助動詞</p> <p>oスタ・他</p> <p>行書</p>	<p>和歌の意味を理解している。</p> <p>古典の基礎知識・用言の活用を覚える。</p> <p>基礎的な助動詞の意味と活用を覚える</p> <p>学習した知識を使って古文・漢文を読むことができる。</p> <p>正しい筆遣いで文字が書ける。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
春休み	宿題	oスタンダード・天声人語・読書ノート・スタディーサポート				

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組	教科	社会	科目	歴史
				単位数	1
『学び』の 目標とねらい	他国との関係の中での日本の動きを把握し、国際情勢は自分たちの生活と密接に結びついていることを実感する。				
教材	『中学生の歴史』 帝国書院				
副教材等	【必携】『中学校スタンダード 歴史資料』 帝国書院 授業ノート ※ルーズリーフ禁止				

1. 学習内容

近現代史の歴史を中心に学習し、世界の動向の中での日本の動きを理解することを目標とし、世界とのつながりによって日本がどのように変化していたのかに着目し、日本の歴史を中心に、世界史と関連づけながら授業を展開していきます。

歴史は単なる暗記科目ではありません。なぜ、そのようなことが起きたのか、時代背景、政治状況、対外関係等を踏まえながら考えていき、思考を深めていく科目です。自分の頭で“考えていく”ことをしなければなかなか理解することはできません。授業では、“考えること”が必要です。50分間しっかり考えていきましょう。

2. アドバイス

【復習】

授業前日には、前回の内容をよく復習していきましょう。歴史は積み重ねの学習です。

【授業】

歴史は考える科目です。覚えるではなく、考える作業をしていきましょう。授業後に心地よい頭の疲労があれば、その時のあなたの授業態度は合格点です。

【試験前】

授業ノートや授業プリントをよく見直し、歴史の流れを事件等の背景を踏まえて、文章で説明できるようにしましょう。単語だけを覚えただけでは、良い点数は取ることができません。

【その他】

歴史用語では難しい漢字が多く出てきます。丁寧に漢字を書き取り、難しい読みの漢字には、振り仮名をしっかりとふっておきましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査・週課題

平常点(小テスト・課題・ノート提出・授業を受ける姿勢・自主レポート)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期期末考査	二度の世界大戦と日本	214-221	軍国主義と日本の行方	世界恐慌と行きづまる日本 欧米諸国が選択した道 強まる軍部とおとろえる政党 戦争につき進む日本	世界恐慌とその影響について考える 満州事変とその後の国内の状況を理解し、15年戦争について考える。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		224-233	アジアと太平洋に広がる戦線	第二次世界大戦への道 太平洋戦争と植民地支配の変化 戦局の悪化と戦時下の暮らし	第二次世界大戦のはじまり、経過、結果について、また、その間の国民生活についても考える。	<input type="checkbox"/>
			1・2年次の復習	1・2年次の復習	模試に向けて1・2年次に学習した原始古代から近代までの歴史を総復習します。	<input type="checkbox"/>
2学期期末考査	現在に続く日本と世界	238-239 240-241	敗戦から立ち直る日本	敗戦からの出発 新時代に求められた憲法	日本国憲法、民主化の動きについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
		244-245 248-249	世界の多極化と日本の成長	日本の独立と世界の動き 冷戦下での日本とアジア	冷戦状況、朝鮮戦争、日米安全保障条約、日本の国連加盟について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
		250-251		経済成長による日本の変化	日本の高度経済成長によって社会や生活がどのように変わったのかを学び、戦後、日本が近隣諸国とどのように関わりを持ったのかを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
			修学旅行の事前学習	奈良・京都・広島学習	奈良・京都の歴史学習、広島に関わる平和学習。	<input type="checkbox"/>

3 学 期 学 年 末 考 査	256-257	これからの日本と世界	グローバル化が進む社会	冷戦終結後の国際社会の変化を学ぶ。	□
	258-259		激変する日本とアジア		
	260-261		国際社会におけるこれからの日本		

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組	教科	社会	科目	公民
				単位数	3
教材	『新中学公民 日本の社会と世界』 清水書院				
「学び」の目的とねらい	知識を蓄え、それを使って自分で考える力を身につける。 グローバルな視点で人間・社会を捉え、公民的資質を養う。				
副教材等					

1. 学習内容

講義内容:

地球をとりまく諸問題を解決する能力と態度を身につける。地理分野、歴史分野をふまえて政治・経済・環境分野でグローバルかつローカルに考え行動する力を身につける。

講義形式:

教科書学習(45分)ーその日の確認(5分)を実施します。

2. アドバイス

【予習】:特に必要ありませんが教科書を読んでおくとよいでしょう。

【授業】:社会は考える科目です。覚えるではなく、考える作業をしていきましょう。授業後に心地よい頭の疲労があれば、その時のあなたの授業態度は合格点です。

【復習】:授業プリントやノートをもう一度読み直しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

1. 小テスト、2. 宿題・課題、3. ノート提出

小單元ごとに確認テストをします。定期考査前には出題予想問題プリントで演習をします。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	第1編 私たちの生活と政治	24-55	第1章 人権の尊重と日本国憲法	民主政治の成立 1 政治のはたらき 2 民主政治の発達 3 日本国憲法の成立 基本的人権の保障 1 自由権 2 平等権 3 社会権 4 参政権・国務請求権 5 公共の福祉・義務 人権思想の新しい展開 1 新しい人権を求めて 2 国際化時代の人権	専制政治から民主政治へ 明治憲法と日本国憲法の違い 日本国憲法の成立過程 身体、精神、経済活動の自由 法の下での平等、差別問題 生存権、教育を受ける権利、他 参政権、請願権、国務請求権 公共の福祉、国民の義務 プライバシーの権利、他 世界人権宣言、国際人権規約	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		56-85	第2章 国民主権	民主政治の原理としくみ 1 民主政治の原理 2 民主政治のしくみ 国民を代表する国会 1 国会のしごと 2 国会のしくみと運営 行政をおこなう内閣 1 内閣のしごととしくみ 法と人権を守る裁判所 1 裁判所のはたらき 2 司法権の独立 住民がきづく地方自治 1 地方自治 2 市民参加の地域づくり 民主政治を育てる 1 選挙のしくみ 2 政党の役割 3 世論と政治参加	主権、議会制民主主義 三権分立、モンテスキュー 立法権、国会の権限 二院制、衆議院と参議院 内閣、議院内閣制、行政改革 裁判、裁判員制度 司法権の独立、法令審査権 地方自治法、条例 直接請求権、住民運動 選挙制度を理解する 政党政治 世論、マスメディア	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	第1編 私たちの生活と政治 / 第2編 私たちの生活と経済	86-91	第3章 平和主義	平和主義と日本の立場 1 平和主義 2 自衛隊と安全保障 3 世界平和と日本の役割	憲法第9条、非核三原則 自衛隊、日米安保、PKO 諸外国との友好	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		96-105	第1章 私たちの暮らしと経済	市場経済のしくみ 1 暮らしの中の経済 2 経済の流れ 3 貨幣のはたらきと通貨 私たちの暮らしと価格	財とサービス、家計 流通、市場 貨幣、通貨制度の歴史	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		106-117	第2章 生産のしくみと企業	市場経済における企業 1 市場経済と企業 現代の企業 1 株式会社とは 2 金融のしくみと役割 3 企業の競争と独占 4 産業構造の変化	需要供給の法則、市場価格、 インフレとデフレ、景気変動 資本主義経済、自由競争 株式会社 金融機関、日本銀行の役割 独占、寡占、独占禁止法 産業構造	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		126-133	第3章 政府の役割と財政	国境を越える経済 1 企業のグローバル化 2 貿易と為替相場 私たちの暮らしと財政 1 財政のはたらき 2 租税 3 国の財政 4 地方財政	GATTからWTO、地域統合、EU 為替相場、国際収支、円高 所得の再分配、景気の調整 国税、地方税、累進課税制度 歳出、歳入、国債、財政投融资 地方交付税、国庫支出金	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		134-153	第4章 社会保障と福祉の充実	社会保障のしくみ 1 社会保障制度 くらしの向上と国民福祉 1 雇用問題と労働条件 2 労働者の権利と保護 3 消費者の権利と擁護 4 食料問題と農業 5 循環型社会 6 政府の役割と福祉	社会保険、公的扶助、他 労働基準法、労働基準監督署 団結権、団体交渉権、争議権 消費者の権利、PL法 食料・農業・農村基本法 公害対策基本法、環境基本法 小さな政府と大きな政府	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	第3編 国際社会を生きる	156-179	第1章 今日の国際社会	国際政治のしくみ 1 国際政治と方 2 国際連合とその働き	主権国家、領土、領空、領海 国際連合、安全保障理事会	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		168-179	第2章 持続可能な未来へ	国際社会の課題 1 軍縮の取り組み 2 現代社会と紛争	NPT, CTBT 地域紛争、難民	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				未来の社会をきづく 1 人口増加と資源 2 かけがえのない地球 3 南と北の格差をなくす 4 地球的規模の問題 5 未来をつくる君たちへ	食糧問題 京都議定書 南北問題、ODA、累積債務 サミット、NGO 持続可能な社会	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年2, 3, 4組 スタンダード	教科	数学	科目	数学A
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い、高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	新編 新しい数学3 (東京書籍) / 数学I Advanced(東京書籍)				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3(文理) / Hi-PRIME 数学I+A (東京書籍)				

1. 学習内容

(中学3年)

2章 平方根…意味を理解し、計算ができるようになる。

3章 2次方程式…2次方程式について理解し、利用できるようになる。

4章 関数 $y = ax^2$ …具体的な事象のなかから2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解する。また、それらの関数関係を見だし、表現し、考察できる。

(数学I)

1章 数と式…文字を含んだ式の扱いに慣れる。整式の展開や因数分解ができる。根号を含んだ式の計算ができる。

(中学総復習)

高校入学前に、基礎的な内容から入試レベルまでの総復習を行い、実力をつける。

2. アドバイス

【予習】

シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】

授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。

日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】

始業ベル前に授業に必要なもの一式を机上に用意しておく。忘れ物をしない。

板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期 中間考査	2章 平方根	p38	1節 平方根	<ol style="list-style-type: none"> 1 平方根 2 素因数分解 	<p>いままで学習した数とは異なる数があることを理解する。</p> <p>根号を用いて数の平方根を表すことができる。</p> <p>平方根の大小を判断し、不等号を用いて表すことができる。</p> <p>因数・素数・素因数・素因数分解の意味を理解する。</p> <p>素数を求めたり、素因数分解ができるようにする。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p49	2節 根号をふくむ式の計算	<ol style="list-style-type: none"> 1 根号をふくむ式の乗除 2 根号をふくむ式の加減 	<p>根号をふくむ式を簡単な形に変形できるようにする</p> <p>平方因数を根号の外へ出す変形ができる</p> <p>根号をふくむ式の乗法除法ができるようにする</p> <p>分母の有理化ができるようにする</p> <p>根号をふくむ加法減法ができるようにする</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期 期末考査	3章 2次方程式	p66	1節 2次方程式とその解き方	<ol style="list-style-type: none"> 1 2次方程式 2 平方根の考え方を 使った解き方 3 2次方程式の解の 公式 4 因数分解による 解き方 5 いろいろな2次方程式 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次方程式の意味を理解する。 ○ 2次方程式の解, 2次方程式を解くことの意味を理解する。 ○ 平方根の考えを使って2次方程式を解くことができる。 ○ 完全平方式をつかって2次方程式を解くことができることを知る。 ○ 解の公式を使って2次方程式を解くことができる。 ○ 「$AB=0$ならば$A=0$または$B=0$」であることを理解し, それを利用して2次方程式の解を求めることができる。 ○ 因数分解を使って2次方程式を解くことができる。 ○ いろいろな形をした2次方程式を, (2次式)$=0$の形になおして解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p81	2節 2次方程式の利用	<ol style="list-style-type: none"> 1 2次方程式の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次方程式になるいろいろな問題例と, その立式における考え方を理解する。 	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	4章 関数 $y=ax^2$	p90	1節 関数 $y=ax^2$	①関数 $y=ax^2$ ②関数 $y=ax^2$ のグラフ ③関数 $y=ax^2$ の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事象のなかから $y=ax^2$ の関係にある量を見だし、式に表すことができる。 ○ 2乗に比例することの意味を理解する。 ○ 1組の x,y の値から $y=ax^2$ の式を求めることができる。 ○ $y=x^2$ のグラフとその特徴を理解する。 ○ $y=x^2$ のグラフをもとに、$y=ax^2$ のグラフをかくことができる。 ○ $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解する。 ○ 身近に見られる放物線の例を知る。 ○ 変域の対応を理解する。 ○ 斜面を転がる球の平均の速さ=変化の割合を理解する。 ○ 変化の割合の意味とその求め方を知る。 ○ 関数 $y=ax^2$ のいろいろな区間における変化の割合を求めることができる。 ○ 関数 $y=ax^2$ と1次関数の変化の割合を比べる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p109	2節 いろいろな関数の利用	①関数 $y=ax^2$ の利用 ②いろいろな関数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関数 $y=ax^2$ を利用して事実問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線を利用して問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線の交点を、連立方程式を利用して求められる。 ○ $y=ax^2$ 以外の関数のグラフをかいたり、その関数を利用して事実問題を解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	1章 数と式 (高校/数学I)	p6	1節 式の計算	①整式 ②整式の加法・減法・乗法 ③因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を含んだ式の約束を確認し、正しく文字を扱うことができる。 ○ 加法、減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 ○ 乗法公式を使うことによって、展開を能率的に行うことができる。 ○ 分配法則・乗法公式を逆に用いて因数分解できる。 ○ 複二次式・3次の乗法公式を使った因数分解ができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
	中学総復習		中学の総復習	中学1～3年の復習 高校入試演習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校で学習した基本事項を再確認し、問題を解くことができる。 ○ 付属高校入試問題、公立高校入試問題を解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
学年末考査	1章 数と式(高校/数学Ⅰ)	p22	2節 実数	<ul style="list-style-type: none"> 1 実数 2 根号を含む式の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実数の分類ができる。 ○ 実数の特徴を理解し、結合法則・分配法則・交換法則を使って計算ができる。 ○ 1学期に学習した平方根の基礎的な計算ができる。 ○ 乗法公式を利用し、根号を含む式の計算ができる。 ○ 根号と絶対値の関係を理解し、計算ができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p34	3節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 1 不等式とその性質 2 1次不等式の解法 3 不等式の応用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不等号の意味を理解し、不等式の扱いに慣れる。 ○ 不等号の向きに注意しながら不等式を解くことができる。 ○ 連立不等式では共通部分を求めることを理解し、計算できる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年2, 3, 4組 スタンダード	教科	数学	科目	数学B
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い、高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	新編 新しい数学3（東京書籍）／ 数学A Advanced(東京書籍)				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3(文理)／ Hi-PRIME 数学I+A（東京書籍）				

1. 学習内容

(中学3年)

6章 円…円周角について学び、様々な角度が求められるようになる。円周角に関する定理についての理解を深める。

7章 三平方の定理…三平方の定理について理解し、それを用いることができる。

8章 標本調査…1年次の資料の整理をさらに進めて、調査の方法からその調査で得た資料をどう整理すると正しい理解につながるかを学習する。

(高校数学A)

3章 図形の性質…中学で学んだ図形の性質や合同・相似を復習しながら、それらを発展させ、図形の問題が解けるようになる。

2. アドバイス

【予習】

シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】

授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。

日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】

始業ベル前に授業に必要なもの一式を机の上に用意しておく。忘れ物をしない。

板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	7章 三平方の定理	p176	1節 三平方の定理	①三平方の定理 ②三平方の定理の逆	○ 正方形の面積の関係を辺の長さの関係におきかえることから、三平方の定理の意味とその証明を理解する。 ○ 三平方の定理を使って辺の長さを求めることができる。 ○ 特徴的な直角三角形の辺の比を知る。 ○ 三平方の定理の逆を理解し、直角三角形であるかの判断をする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p185	2節 三平方の定理の利用	①三平方の定理の利用 ②いろいろな問題	○ 正方形の対角線の長さや正三角形の高さ、長方形の対角線、二等辺三角形の高さを求めることができる。 ○ 特別な直角三角形の辺の長さの比を知り、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ○ 円の弦の長さ、接線の長さを求めることができる。 ○ 直方体の対角線の長さを求めることができる。 ○ 円錐や角錐の高さを求め、体積を求めることができる。 ○ 定理を利用して、いろいろな問題を解くことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	V模擬対策		中学1, 2年の復習	中学1, 2年の復習	○ 中学1, 2年生で学習したことを再確認し、問題を解くことができる。 ○ V模擬の過去問を解くことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	6章 円	p158	1節 円周角の定理	①円周角の定理 ②円周角の定理の逆	○ 円周角と中心角の関係を理解し活用する。 ○ 直径上の円周角が直角となることを理解する。 ○ 円周角の定理の逆が成立することを確認することができる。 ○ 角度から、円に内接する四角形かどうかの判断ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p170	2節 円周角の定理の利用	①円周角の定理を利用した作図 ②円と相似	○ 円周角の定理を利用して接線を引けるようになる。 ○ 円周角の定理と相似の総合問題を考える。 ○ 方べきの定理を理解し、活用できるようになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	8章 標本調査	p198	1節 標本調査	①標本調査	○ 標本調査と全数調査の違いを理解し、標本調査の必要性を理解する。 ○ 標本調査をどのように行うかを理解し、実際に行ってみる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p205	2節 標本調査の利用	①標本調査の利用	○ 乱数表・乱数さい・コンピュータの利用による方法を理解する。 ○ 標本調査が行われている例を取り上げ、理解を深める。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	p100	3章 図形の性質(高校数学A)	1節 三角形の性質	①三角形と比 ②三角形の重心・外心・垂心・内心 ③三角形の比の定理	○ 中学3年の相似な図形、中点連結定理の復習を行い、問題を解くことができる。 ○ 内分・外分の意味を理解し、図示することができる。 ○ 三角形の内角・外角の二等分線と辺の比の関係を理解し問題が解けるようにする。 ○ 内心・外心・重心・垂心・傍心を理解し、作図できるようになる。 ○ チェバの定理・メネラウスの定理を理解し、使えるようにする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	3章 図形の性質(高校数学A)	p115	2節 円の性質	①円周角の定理	○ 中学3年の円周角の復習をし、基本事項の確認をする。	<input type="checkbox"/>
				②円に内接する四角形	○ 円周角を理解し、円に内接する四角形を理解する。	<input type="checkbox"/>
				③接線と弦のつくる角	○ 接線と弦のなす角を理解する。	<input type="checkbox"/>
				④方べきの定理	○ 円の性質・相似を基本に、方べきの定理を理解し、問題を解くことができる。	<input type="checkbox"/>
				⑤2つの円		<input type="checkbox"/>
		p127	3節 作図	①基本的な作図 ②長さの作図	○ 中学1年の基本的な作図の復習を行い、長さの作図ができるようにする。	<input type="checkbox"/>
p134	4節 空間図形	①直線と平面	○ 直線や平面の位置関係、2平面のなす角等を理解する。	<input type="checkbox"/>		
		②多面体	○ 多面体定理を理解する。	<input type="checkbox"/>		

2020年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学A
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い、高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	新編 新しい数学3（東京書籍）／ 数学I Advanced(東京書籍)				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3(文理)／ Hi-PRIME 数学 I+A（東京書籍）				

1. 学習内容

(中学3年)

3章 2次方程式…2次方程式について理解し、利用できるようになる。

4章 関数 $y = ax^2$ …具体的な事象のなかから2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解する。また、それらの関数関係を見だし、表現し、考察できる。

(数学I)

1章 数と式…文字を含んだ式の扱いに慣れる。整式の展開や因数分解ができる。根号を含んだ式の計算ができる。

(中学総復習)

高校入学前に、基礎的な内容から入試レベルまでの総復習を行い、実力をつける。

2. アドバイス

【予習】

シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】

授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。

日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】

始業ベル前に授業に必要なもの一式を机の上に用意しておく。忘れ物をしない。

板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢

※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	3章 2次方程式	p66	1節 2次方程式とその解き方	<ol style="list-style-type: none"> ① 2次方程式 ② 平方根の考え方を 使った解き方 ③ 2次方程式の解の 公式 ④ 因数分解による 解き方 ⑤ いろいろな2次方程式 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次方程式の意味を理解する。 ○ 2次方程式の解, 2次方程式を解くことの意味を理解する。 ○ 平方根の考えを使って2次方程式を解くことができる。 ○ 完全平方式をつかって2次方程式を解くことができることを知る。 ○ 解の公式を使って2次方程式を解くことができる。 ○ 「$AB=0$ならば$A=0$または$B=0$」であることを理解し, それを利用して2次方程式の解を求めることができる。 ○ 因数分解を使って2次方程式を解くことができる。 ○ いろいろな形をした2次方程式を, (2次式)$=0$の形になおして解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p81	2節 2次方程式の利用	<ol style="list-style-type: none"> ① 2次方程式の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次方程式になるいろいろな問題例と, その立式における考え方を理解する。 	<input type="checkbox"/>
			演習		<ul style="list-style-type: none"> ○ この単元の発展問題が解ける。 	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期末考査	4章 関数 $y=ax^2$	p90	1節 関数 $y=ax^2$	<p>1 関数 $y=ax^2$</p> <p>2 関数 $y=ax^2$ のグラフ</p> <p>3 関数 $y=ax^2$ の値の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事象のなかから $y=ax^2$ の関係にある量を見だし、式に表すことができる。 ○ 2乗に比例することの意味を理解する。 ○ 1組の x,y の値から $y=ax^2$ の式を求めることができる。 ○ $y=x^2$ のグラフとその特徴を理解する。 ○ $y=x^2$ のグラフをもとに、$y=ax^2$ のグラフをかくことができる。 ○ $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解する。 ○ 身近に見られる放物線の例を知る。 ○ 変域の対応を理解する。 ○ 斜面を転がる球の平均の速さ＝変化の割合を理解する。 ○ 変化の割合の意味とその求め方を知る。 ○ 関数 $y=ax^2$ のいろいろな区間における変化の割合を求めることができる。 ○ 関数 $y=ax^2$ と1次関数の変化の割合を比べる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p109	2節 いろいろな関数の利用	<p>1 関数 $y=ax^2$ の利用</p> <p>2 いろいろな関数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関数 $y=ax^2$ を利用して事実問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線を利用して問題を解くことができる。 ○ 放物線と直線の交点を、連立方程式を利用して求められる。 ○ $y=ax^2$ 以外の関数のグラフをかいたり、その関数を利用して事実問題を解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	1章 数と式 (高校/数学Ⅰ)	p6	1節 式の計算	① 整式 ② 整式の加法・減法・乗法 ③ 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を含んだ式の約束を確認し、正しく文字を扱うことができる。 ○ 加法、減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 ○ 乗法公式を使うことによって、展開を能率的に行うことができる。 ○ 分配法則・乗法公式を逆に用いて因数分解できる。 ○ 複二次式・3次の乗法公式を使った因数分解ができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	<input type="checkbox"/>
2学期末考査	1章 数と式 (高校/数学Ⅰ)	p22	2節 実数	① 実数 ② 根号を含む式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実数の分類ができる。 ○ 実数の特徴を理解し、結合法則・分配法則・交換法則を使って計算ができる。 ○ 2年次に学習した平方根の基礎的な計算ができる。 ○ 乗法公式を利用し、根号を含む式の計算ができる。 ○ 根号と絶対値の関係を理解し、計算ができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p34	3節 1次不等式	① 不等式とその性質 ② 1次不等式の解法 ③ 不等式の応用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不等号の意味を理解し、不等式の扱いに慣れる。 ○ 不等号の向きに注意しながら不等式を解くことができる。 ○ 連立不等式では共通部分を求めることを理解し、計算できる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	<input type="checkbox"/>
学年末考査	中学総復習		中学の総復習 高校入試演習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校で学習した基本事項を再確認し、問題を解くことができる。 ○ 付属高校入試問題、公立高校入試問題を解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1組 ハイレベル	教科	数学	科目	数学B
				単位数	3
「学び」の 目標とねらい	1年2年の学習を基に発展的な内容を行い、高校数学の基礎となる論理的思考力を養う。				
教材	新編 新しい数学3（東京書籍）／ 数学I Advanced(東京書籍)				
副教材等	【必携】 WinPass 中学数学3(文理) Hi-PRIME 数学 I+A（東京書籍）				

1. 学習内容

(中学3年)

6章 円…円周角について学び、様々な角度が求められるようになる。円周角に関する定理についての理解を深める。

7章 三平方の定理…三平方の定理について理解し、それをを用いることができる。

8章 標本調査…1年次の資料の整理をさらに進めて、調査の方法からその調査で得た資料をどう整理すると正しい理解につながるかを学習する。

(高校数学A)

3章 図形の性質…中学で学んだ図形の性質や合同・相似を復習しながら、それらを発展させ、
図形の問題が解けるようになる。

2. アドバイス

【予習】
シラバスを参考にして、授業のノートおよび教科書に目を通す。10分でよい。

【復習】
授業で扱った問題をその日のうちにもう一度解いてみる。
日頃より問題集を使い、類題を積極的に解いていく。

【その他】
始業ベル前に授業に必要なもの一式を机の上に用意しておく。忘れ物をしない。
板書事項は見やすくノートに書き、自分の言葉で板書以外の重要部分を書き足していく。授業中の疑問点は、なるべくその日のうちに確認しておくこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

・小テスト ・朝テスト ・宿題 ・課題 ・ノート提出 ・授業を受ける姿勢
※上記項目を総合的に判断し成績をつけます。提出物の期限厳守。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	7章 三平方の定理	p176	1節 三平方の定理	<ol style="list-style-type: none"> 1 三平方の定理 2 三平方の定理の逆 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正方形の面積の関係を辺の長さの関係におきかえることから、三平方の定理の意味とその証明を理解する。 ○ 三平方の定理を使って辺の長さを求めることができる。 ○ 特徴的な直角三角形の辺の比を知る。 ○ 三平方の定理の逆を理解し、直角三角形であるかの判断をする。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p185	2節 三平方の定理の利用	<ol style="list-style-type: none"> 1 三平方の定理の利用 2 いろいろな問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正方形の対角線の長さや正三角形の高さ、長方形の対角線、二等辺三角形の高さを求めることができる。 ○ 特別な直角三角形の辺の長さの比を知り、それを利用して線分の長さを求めることができる。 ○ 円の弦の長さ、接線の長さを求めることができる。 ○ 直方体の対角線の長さを求めることができる。 ○ 円錐や角錐の高さを求め、体積を求めることができる。 ○ 定理を利用して、いろいろな問題を解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	<input type="checkbox"/>
1学期期末考査	V 模擬対策		中学1, 2年の復習	中学1, 2年の復習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学1, 2年生で学習したことを再確認し、問題を解くことができる。 ○ V模擬の過去問を解くことができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	6章 円	p158	1節 円周角の定理	①円周角の定理 ②円周角の定理の逆	○ 円周角と中心角の関係を理解し活用する。 ○ 直径上の円周角が直角となることを理解する。 ○ 円周角の定理の逆が成立することを確認することができる。 ○ 角度から、円に内接する四角形かどうかの判断ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p170	2節 円周角の定理の利用	①円周角の定理を利用した作図 ②円と相似	○ 円周角の定理を利用して接線を引けるようになる。 ○ 円周角の定理と相似の総合問題を考える。 ○ 方べきの定理を理解し、活用できるようになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			演習		○ この単元の発展問題が解ける。	<input type="checkbox"/>
2学期期末考査	8章 標本調査	p198	1節 標本調査	①標本調査	○ 標本調査と全数調査の違いを理解し、標本調査の必要性を理解する。 ○ 標本調査をどのように行うかを理解し、実際に行ってみる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p205	2節 標本調査の利用	①標本調査の利用	○ 乱数表・乱数さい・コンピュータの利用による方法を理解する。 ○ 標本調査が行われている例を取り上げ、理解を深める。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		演習		○ この単元の発展問題が解ける。	<input type="checkbox"/>	
	3章 図形の性質(高校数学A)	p100	1節 三角形の性質	①三角形と比 ②三角形の重心・外心・垂心・内心 ③三角形の比の定理	○ 中学3年の相似な図形、中点連結定理の復習を行い、問題を解くことができる。 ○ 内分・外分の意味を理解し、図示することができる。 ○ 三角形の内角・外角の二等分線と辺の比の関係を理解し問題が解けるようにする。 ○ 内心・外心・重心・垂心・傍心を理解し、作図できるようになる。 ○ チェバの定理・メネラウスの定理を理解し、使えるようにする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
学年末考査	3章 図形の性質(高校数学A)	p115	2節 円の性質	<input type="checkbox"/> 1 円周角の定理 <input type="checkbox"/> 2 円に内接する四角形 <input type="checkbox"/> 3 接線と弦のつくる角 <input type="checkbox"/> 4 方べきの定理 <input type="checkbox"/> 5 2つの円	<input type="checkbox"/> 中学3年の円周角の復習をし、基本事項の確認をする。 <input type="checkbox"/> 円周角を理解し、円に内接する四角形を理解する。 <input type="checkbox"/> 接線と弦のなす角を理解する。 <input type="checkbox"/> 円の性質・相似を基本に、方べきの定理を理解し、問題を解くことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		p127	3節 作図	<input type="checkbox"/> 1 基本的な作図 <input type="checkbox"/> 2 長さの作図	<input type="checkbox"/> 中学1年の基本的な作図の復習を行い、長さの作図ができるようにする。	<input type="checkbox"/>
		p134	4節 空間図形	<input type="checkbox"/> 1 直線と平面 <input type="checkbox"/> 2 多面体	<input type="checkbox"/> 直線や平面の位置関係、2平面のなす角等を理解する。 <input type="checkbox"/> 多面体定理を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			演習		<input type="checkbox"/> この単元の発展問題が解ける。	<input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～4 組	教科	理科	科目	理科 1 分野
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	理科の学習の中から、1 つを取り上げ、報告できる。				
教材	『新編 新しい科学 3』 東京書籍				
副教材等	【必携】『最新 理科便覧』 浜島書店 『View Point 中 3 理科』 学書 理科 I 用の B5 ノート 化学分野(1、2 学期)、物理分野(2、3 学期)				

1. 学習内容

1 学期はまず、2 年で学んだ化学分野の内容を復習します。様々な化学変化や化学反応式、原子の構造、イオンの生成について重点的に学びます。さらに電気分解のしくみについて学び、化学変化に電子が関係すること、その電子の移動のしかたなどについて学びます。期末試験では、電池について学習します。電気分解と同様、電子がどこから出てくるのか、どのように移動するのがポイントとなります。

2 学期はまず、酸・アルカリ、中和について学びます。この分野も引き続きイオンが関係してくるので、夏休み中にしっかりと復習しておきましょう。後半からは物体にはたらく力の性質や、力の種類を学びます。力を合成、分解することにより、それぞれの向きにはたらく力を分析できるようにします。物体の運動には力が関わっていることを知り、物体の運動について等速直線運動を中心に、運動のようすや速さの求め方を記録タイマーの実験を通じて学びます。また、斜面を下る運動のようすを記録し、速さが変化する運動についても学びます。

3 学期では仕事とエネルギーの分野に入ります。理科で使う仕事の意味を理解し、エネルギーはどのような性質を持っているのかを基礎知識として学びます。さらに力学的エネルギーの保存を中心に学びます。そして現在の私たちの生活を支えている科学技術がどのように発展してきたのかを学び、技術の発展がもたらす環境問題など生活全般に関わることを学んでいきます。

2. アドバイス

- ・暗記すべき事をしっかり暗記すること。
- ・問題を解くときは、図に表して理解する習慣をつけること。
- ・授業では、ノートには板書のみならず、口頭でなされた説明もメモする習慣が大切である。
- ・指示された確認テストにしっかり取り組み、実験後のレポートは期限を守って提出すること。
- ・授業に集中して、参加すること。

成績は、試験の結果のみではなく、確認テストなども含めて出されるものです。その指標が上にあげた点です。また、授業時に毎時間確認テストを行いますので、しっかりと学習しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(確認テスト・実験・レポート提出・ノート提出)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	化学変化とイオン	10-25	水溶液とイオン	水溶液と電流 電解質の水溶液の中で起こる変化 イオンと原子のなり立ち	電解質と非電解質の違いがわかる。 電気分解のしくみがわかる。 電気分解による化学変化を、化学反応式で表すことができる。 原子の構造がわかる。 イオンのでき方がわかる。 代表的なイオンをイオン式で書ける。 イオン式と周期表の関係性がわかる。 代表的な物質が電離するときの式が書ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	化学変化とイオン	27-37	化学変化と電池	電解質の水溶液の中の金属板と電流 電池の中で起こる変化 身のまわりの電池	電流が流れるには、電解質の水溶液と2種類の異なる金属が必要であることがわかる。 電池の+極と-極の表面で起きている変化がわかる。 -極で電子を出す変化が書ける。 +極で電子を受け取る変化が書ける。 一次電池と二次電池の違いがわかる。 燃料電池での変化がわかる。 身のまわりで使われている電池も、電解質の水溶液と金属などの電極を組み合わせられてつくられていることがわかる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
夏休み	復習		これまでに行った確認テストの復習 2学期最初の授業時に、中学1年～中学3年1学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。			<input type="checkbox"/>

2学期中間考査	化学変化とイオン	40-57	酸、アルカリとイオン	酸性やアルカリ性の水溶液の性質 酸性、アルカリ性の正体とイオン 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化	酸の性質がわかる。 アルカリの性質がわかる。 酸性の水溶液に共通する物質がわかる。 アルカリ性の水溶液に共通する物質がわかる。 酸性・アルカリ性の強さを表すのにpHが用いられることがわかる。 中和がどのような現象がわかる。 中性がどのようなものがわかる。 塩がどのようなものがわかる。 中和によって何ができるかがわかる。 中和の化学反応式が書ける。 イオンの濃度と体積の関係がわかる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		112-125	物体のいろいろな運動	物体の運動 力がはたらかない物体の運動 運動の向きに力がはたらく物体の運動 運動と逆向きに力がはたらく物体の運動	速さを求められ、秒速から時速を求めることができる。 摩擦のない水平な面上で力を受けずに運動する物体の速さの特徴がわかる。 運動の向きに一定の力がはたらく物体の速さの特徴がわかる。 運動の向きと逆向きに一定の力がはたらく物体の速さの特徴がわかる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	運動とエネルギー	126-139	力の規則性	力のつり合い 力の合成と分解 慣性の法則 作用・反作用の法則	2力のつり合いの条件がわかる。 静止している物体、動いている物体にはたらく力とその特徴がわかる。 合力と分力がわかり、それらを作図することができる。 静止している物体は静止し続け、運動している物体は運動し続けることがわかる。 物体がもう1つの物体に力を加えると、必ず相手の物体から同じ大きさで逆向きの力を受けることがわかる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				これまでに行った確認テストの復習 3学期最初の授業時に、中学1年～中学3年2学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。	<input type="checkbox"/>	
冬休み	復習					<input type="checkbox"/>

3 学期 学 年 末 考 査	運 動 と エ ネ ル ギ ー	140-165	エ ネ ル ギ ー と 仕 事	物体のもつエネルギー	運動エネルギー、位置エネルギーの大きさを決めているものがわかる。	<input type="checkbox"/>
				力学的エネルギーの保存	運動エネルギーと位置エネルギーの間にある関係がわかる。	<input type="checkbox"/>
				仕事と力学的エネルギー	仕事を求めることができる。 仕事の式を用いて、様々な計算問題ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				仕事の原理と仕事率	仕事の原理がわかる。 仕事率を求めることができる。 仕事率の式を用いて、様々な計算問題ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				エネルギーの移り変わり	いろいろなエネルギーが相互に変換されて利用されることがわかる。	<input type="checkbox"/>
				エネルギーの保存	エネルギー変換してもエネルギーが保存されることがわかる。	<input type="checkbox"/>
				春 休 み	復 習	

2020 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～4 組	教科	理科	科目	理科 2 分野
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	理科の学習の中から、1つを取り上げ、報告できる。				
教材	『新編 新しい科学 3』 東京書籍				
副教材等	【必携】 『最新 理科便覧』 浜島書店 『View Point 中 3 理科』 学書				

1. 学習内容

生物分野では、まず細胞について学習します。細胞は中学 1～2 年次でも学習しましたが、生物学において非常に大切な分野の 1 つです。これまでに学習した内容をさらに深め、高校での生物の学習につなげていきます。細胞に続き、遺伝や生態系についても深く学習します。遺伝子や DNA に関する研究は現在、飛躍的に進歩し、それに伴い私たちの生活にも密接に関係しています。また、生態系の学習では、地球で生活する私たちが必ず考えなければならない環境問題を考える上で必要な知識を身につけます。ただ単に教科書の内容を学習するだけでなく、これらの学習を通して科学や地球上の問題を少しでも身近なものとして感じてもらいたいと思います。

地学分野では天体について学習します。見かけ上の太陽や星の動きは普段から私たちが見ているものです。そのしくみを学ぶことにより、より天体を身近なものと感じてもらいます。さらに、私たちが生活する地球以外の惑星、宇宙の構造など、より広い世界に科学的な視点から目を向けます。

2. アドバイス

- ・暗記すべき事をしっかり暗記すること。
- ・問題を解くときは、図に表して理解する習慣をつけること。
- ・授業では、ノートには板書のみならず、口頭でなされた説明もメモする習慣が大切である。
- ・出される宿題、指示された小テストにしっかり取り組むこと。
- ・授業に集中して、参加すること。

成績は、試験の結果のみではなく、小テストなども含めて出されるものです。その指標が上にあげた点です。また、授業時に小テストを行いますので、しっかりと学習しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(小テスト・実験・宿題・ノート提出)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	生命の連続性	68-86	生物の成長と生殖	生物の成長と細胞の変化	生物の成長と細胞の変化の関係 体細胞分裂の過程 染色体の構成 無性生殖によるふえ方 有性生殖によるふえ方 植物の生殖過程 カエルの発生	<input type="checkbox"/>
				無性生殖 有性生殖	減数分裂の過程 有性生殖と無性生殖の違い	<input type="checkbox"/>
1学期期末考	生命の連続性	88-97	遺伝の規則性と遺伝子	遺伝の規則性	遺伝子の存在 遺伝子による形質の決定 一遺伝子雑種の遺伝のしくみ 二遺伝子雑種の遺伝のしくみ DNAの構造	<input type="checkbox"/>
夏休み	復習	夏休みの宿題: 科学博物館見学 1学期に行った小テストの復習 2学期最初の授業時に、1学期に学習した内容に関する試験を行います。 各自で復習を行ってください。				<input type="checkbox"/>
2学期中間考査	生命の連続性 地球と宇宙	98-103 178-207	遺伝の規則性と遺伝子	遺伝子やDNAに関する研究成果の活用	遺伝子技術	<input type="checkbox"/>
			宇宙の広がり	銀河系と太陽系 太陽 太陽系の天体	銀河系の構造 太陽系の構造 太陽の特徴 太陽系の惑星の特徴 月の特徴 惑星以外の天体	<input type="checkbox"/>
			地球の運動と天体の動き	天球と方位、時刻 地球の自転と天体の動き 星座の1年の動き	天球の見かた 地球の自転と公転 地球上の方位の考え方 地球上の時刻の考え方 天球上での太陽の1日の動き 天球上での星の1日の動き 星の1年の動き 太陽の1年の動き	<input type="checkbox"/>

2 学期 期末 考査	地球と宇宙	207-223	地球の運動と天体の動き	季節の変化	季節による南中高度の違い 季節による昼と夜の長さの違い 都市による南中高度の違い	<input type="checkbox"/>
			月と惑星の見え方	月の満ち欠け 日食と月食 惑星の見え方	月の満ち欠けのしくみ 日食と月食のしくみ 金星の満ち欠け	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
冬 休 み	復習		プラネタリウム見学 1、2 学期に行った小テストの復習 3 学期最初の授業時に、1、2 学期に学習した内容に関する試験を行います。 各自で復習を行ってください。			<input type="checkbox"/>
3 学期 学 年 末 考査	地球と私たちの未来のために	232-263	自然のなかの生物	生態系	生態系の構成 食物連鎖と食物網 食物連鎖における個体数の変化	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			自然環境の調査と保全	生態系における生物の役割 炭素の循環	生産者と消費者、分解者のはたらき 炭素の循環 窒素の循環	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			自然環境の調査と保全	身近な自然環境の調査 人間による活動と自然環境	身近な環境調査 日本固有の自然現象 森林の形成過程(遷移)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			自然の恵みと災害	自然環境の開発と保全 活動する大地	地球温暖化 外来生物とその影響 自然環境の保全 生物多様性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				気象現象による恵みと災害 自然の恵みと災害の調査	地球上のプレートの動きと地震・火山の関係 降水と災害の関係 自然と災害の関係	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組	教科	音楽	科目	音楽
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	音楽の知識・技術を深め、歌詞の内容を理解しながら味わって歌えるようになる				
教材	中学生の音楽 2・3 下、中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材等	【必須】ニューコーラスフレンズ 【必須】アルトリコーダー				

1. 学習内容

<p>○ 表現</p> <p>(1) 歌唱…混声合唱曲を通して、歌詞の内容を味わい、表現を工夫して歌う</p> <p>(2) 器楽…アルトリコーダーの特徴、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、表現を工夫して合奏する</p> <p>(3) 創作…表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくる</p> <p>○ 鑑賞</p> <p>(1) 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞する</p> <p>(2) 我が国の伝統音楽や諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して鑑賞する</p>

2. アドバイス

<p>○ 2月に合唱コンクールが行われます。中学生の最高学年としての自覚を持ち、クラスで協力してのぞみましょう。</p> <p>○ 実技教科です。週1回の授業を大切に、積極的に授業に参加しましょう。</p> <p>○ 3学期には卒業式を迎えます。式典の歌で、最高学年としての集大成を見せましょう。</p>

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

<p>実技試験(授業内)・筆記試験(期末考査)・授業中の取り組み・提出物</p>

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	心通う合唱をしよう・作曲者の思いを感じ取ろう	4-7	『花』	我が国の音楽に親しむ	それぞれのパートを歌える	<input type="checkbox"/>
			クラス合唱	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する	声部の役割を感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う	<input type="checkbox"/>
		32-35	『ブルタバ（モルダウ）』	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞する	全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う	<input type="checkbox"/>
2学期	我が国の音楽に親しもう歌詞の美しさを味わおう	36-39	雅楽『越天楽』	我が国の音楽に親しむ	音楽の特徴と文化的背景を関連づけて鑑賞する	<input type="checkbox"/>
		64-65	『旅立ちの日に』	美しいハーモニーで、曲想を感じ取って表現を工夫する	曲想を感じ取って味わいながら歌う	<input type="checkbox"/>
			アルトリコーダー	器楽表現	全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら演奏する	<input type="checkbox"/>
3学期	歌詞を理解して表現しよう	72	合唱コンクールに向けての練習	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する	全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う	<input type="checkbox"/>
			『揚げば尊し』	詩と音楽を形造っている要素を理解して表現する	言葉の特性を生かして歌う	<input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組	教科	美術	科目	美術
			単位数	1	
「学び」の目標とねらい	制作を通して感性を高め創造性を深める。				
教材	美術 2・3 上、下(日本文教出版)				
副教材等	筆記用具、エプロン、絵の具セット など				

1. 学習内容

さまざまな素材を通じて発想力を育てる。

ものを作る前、「五感で感じる」ことについて考え、さまざまな素材に触れることで、素材の特性を理解し、今後の創作活動につなげていく。

2. アドバイス

試行錯誤の連続が力のある作品を生み出します。

いい作品を作るという気持ちを大切にすること。

より良い作品ができるよう、授業時間を有効に使って取り組んでください。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

授業態度、作品、定期考査の結果を元に評価します。

作品の提出が大前提です。

評価は「作品に対する取り組み方」、「完成度」を基準とする。

上手い下手よりも、丁寧さを重視して評価します。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	絵画		自画像	○自分について考察 ○下絵制作	自分に関心を持ち、個性を考え、言語化する。 自分らしさを絵で表現する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1学期期末考査	絵画		自画像	○絵の具を用いた自画像制作	画材の特性を生かし、自分の表現意図に応じて効果的な表現方法を工夫しながら描く。	<input type="checkbox"/>
2学期中間考査	彫刻		作品デザイン	○鍋敷きのデザイン ○彫刻刀の使い方	テーマ・見通しをもってデザインを考える。 刃物の種類や使い方、取り扱いについて理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	彫刻		木彫	○鍋敷き制作	彫刻刀を安全に使う。 色彩、押し方などの表現を工夫し、イメージを膨らませて作成する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3学期学年末考査	デザイン		ピクトグラム	○ピクトグラムの歴史 ○今日見られるマークデザインの例 ○自分のイメージを形に表す	美術と生活との関係を理解する。 試行錯誤しながら自分で考える姿勢を養う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年 1～4組	教科	保健体育	科目	体育
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	運動を通して体を動かすことの楽しさを知り、さまざまな種目で自ら積極的に取り組めるような態度や姿勢を身につけることを目指す。				
教材	中学体育実技(学研)				
副教材等					

1. 学習内容

○種目は、施設と時間割の関係で年度初めに決定します。

- ・集団行動
- ・新体カテスト
- ・体づくり運動
- ・陸上(走運動:短距離・ハードル・持久走、跳運動:走り高跳び)
- ・器械運動(マット運動・跳び箱)
- ・水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)2学期以降に行います。
- ・球技(バスケットボール・サッカー・バレーボール・卓球・バドミントン)
- ・体育理論

2. アドバイス

中学生期では、基本的な体力向上とそれに伴うバランス感覚など、運動に必要な基礎体力を中心に進めていくことが重要で、その上で運動を楽しく積極的に取り組んでいくことに重点を置く。自分の体力や運動能力を知り、そこから向上させていくためにはどのようにしたらよいかを考える。また積極的に参加すること、前向きに楽しく体を動かしながら努力していくことが、個人の体力や運動能力へとつながることを忘れずに取り組んでいきましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・実技試験
- ・授業へ取り組む姿勢や態度
- ・その他(見学が多い場合には課題)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	集団行動	324	整列隊形 ・4列横隊 ・姿勢・礼・整頓 ・行進	集団行動の意味を理解し、積極的に行動することによって能率的で安全に行えるよう基本動作を身につける。	・主な行動様式を身につけた ・迅速で的確に行動できた。 ・お互いに協力し、自己責任を果たせた。 ・リーダーに従い、安全に行動することができた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	体操(体力づくり)	5	・体力を高める運動 ・体ほぐし ・新体カテスト	体力の向上を目指し、どのような種目であっても取り組めるようにする。 体カテスト。	・運動に必要な体力と専門的運動能力を高め、実践できた。 ・自分の体力診断を理解し、取り組めた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
通年	陸上競技	60 74	走種目 ・短距離走 ・中・長距離走 跳種目 ・走高跳び はさみ跳び ベリーロール	STEP:A 走跳の基本的特性に触れ、運動体感を通して楽しさを体験する。 STEP:B それぞれの技能を上達させ、記録向上を目指す。 STEP:C 感覚だけでなく、理論的にも技術を理解し、完成度の高い技能を習得する。	・スタートのフォームチェック。 ・腕を素早く振ること。 ・キックした足のかかとをお尻に引きつける。 ・遠心力を使って飛べる。 ・大きな空中姿勢が出来る。 ・安全に着地できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	体操(器械運動)	29	マット運動 跳び箱	STEP:A 基本技能の習得 STEP:B 基本技能の習熟と発展 STEP:C 高度な技への挑戦	・STEP A・B・Cと基礎技の位置づけ(技の系統性、発展性の関係を理解)を理解し、自分にあった技を選び練習ができた。 ・自分ができる技の数を増やせた。 ・できた技の質を高めることができた。 ・技の組合せ上の原則や注意点を理解し、連続技の練習ができた。 ・演技構成とその連続技の練習ができた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
通 年	水泳	85	クロール	STEP:A 水泳の基礎・基本となる技能を学習し、クロール・平泳ぎである程度長い距離を泳げるようにする。	クロール ・呼吸法が難しいため、基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>
			平泳ぎ		平泳ぎ ・キックとバランスが難しいので基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>
			背泳ぎ	STEP:B 各種泳法の技能を高め、個人メドレーができるようにする。	背泳ぎ ・呼吸法は楽だが、力が入ると浮かないため、基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>
			バタフライ	STEP:C 得意種目の強化を図るとともに、横泳ぎ、立ち泳ぎ、簡易水球などを通して総合的な水泳能力の向上を図る。	バタフライ ・呼吸法が難しくタイミングが難しいため、基本的フォームが出来たか。	<input type="checkbox"/>
				ターン 個人メドレー	ターン、個人メドレー ・クイックターンから4種メドレーが出来たか。	<input type="checkbox"/>
	球技(ゴール型・ネット型)	102 142 162 198 212	バスケットボール	STEP:A 球技の基礎・基本となる技能を学習し、学習の進め方、行い方を楽しみながら学習する。	ボールの特性や道具、体力に合わせて基本的技能を身に付ける。	<input type="checkbox"/>
			サッカー	STEP:B 各種目の個人技能を高め、工夫を加えて楽しさを深められるようにする。	技能が高まることにより、それに応じた学習を考えながら取り組む。	<input type="checkbox"/>
			バレーボール	STEP:C 各種目の技能を高めながらチームとして協力しながら作戦を工夫し、相手とのマナーやルールを守る態度を養う。	安全にゲームが楽しめるようにできているか、確認しながら取り組むことができる。	<input type="checkbox"/>
卓球						
			バドミントン			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
通年	体育理論	116	効果的な運動技能を高め方	体育スポーツの種目ごとにあるルールと運動技能について学ぶ。	・理解できた効果的技能を実践できたか。	<input type="checkbox"/>
		136	運動スポーツでの戦術 運動スポーツの文化的特徴	オリンピックなどスポーツとの関わり方	・技や戦術を実践できたか。 ・スポーツに対するとらえ方を理解できたか。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		158	運動スポーツの学び方 豊かなスポーツライフの設計	メンタルトレーニング 体カトレーニング 生涯スポーツとしての考え方	・ルールや技術向上は、もちろん、効果的に力を発揮するのに運動技能とコントロールが理解できたか。	<input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年 1～4組	教科	保健体育	科目	保健
				単位数	1
「学び」の 目標とねらい	健康に過ごすための事故やけがなどどう向き合うのか。 健康のために生活習慣を見直し、病気を予防する。 健康な生活と生活習慣の密接な関係を学習する。				
教材	新・中学保健体育(224 学研/保体 728)				
副教材等	【必携】 ノート				

1. 学習内容

成長著しい中学期において、自分たちの身体のメカニズムを知り、健康という観点を基にした心と身体の変化を勉強する。
さまざまな環境変化や自分の周囲の変化に対する健康影響を理解し、環境問題を含めた個人の健康に対する意識を高めて実践していく。
思春期とはどのようなことかを学び、心と身体のバランス変化を知り、自分自身が考え、判断、対処していくことにより、健康な生活習慣を身につけさせることを学ばせる。

2. アドバイス

思春期における心と身体の変化は大きく、多くの障害や環境変化に対して、自分自身で知識を広め、いろいろな体験を通して対処して健康的な生活習慣の源となるように実践していく。
学習する上で、事前に学習する内容を読ませたり、調べ学習させたりすること、また学習した中で討論会などを通して個人個人が意見を出せるように実践していく。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査 ・ ノート提出 ・ 授業を受ける姿勢

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1 学期 期末 考查	傷害の防止	58-59	1. 傷害の原因と防止	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害とその原因 人的要因と環境要因 ・傷害の防止 ・中学生に多い犯罪被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことが原因で起こるか学べた。 ・傷害を防止するためにどうしたら良いのか理解できた。 	<input type="checkbox"/>
		60-61	2. 交通事故の現状と原因	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の交通事故の現状 交通ルール 自転車の乗り方 ・交通事故の原因 車両要因 車両の特性 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の交通事故にはどんな特徴があるのか理解できた。 ・交通事故の起こる原因としての特徴を学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		62-63	3. 交通事故の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な行動と危険の予測 予測する能力 ・安全な環境づくり ・車両の点検と整備 身を守るための工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を防止する上で大切なことを学んだ。 ・交通事故を防ぐ大切な対策として交通環境の整備も学んだ。 ・車両の特性や整備することの大切さを学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		64-65	4. 犯罪被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害の予測と回避 ・防犯の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害を防止するためにそうしたら良いかを学んだ。 ・犯罪被害を防止する具体的S方法や想定を学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		66-71	5. 自然災害に備えて	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害による被害 様々な災害と二次災害 ・自然災害への備え 出かける時の備え 自宅での備え 災害発生時の行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害による被害はどんなものがあるか学んだ。 ・自然災害に対する対策や備えの大切さを理解できた。 ・自然災害が発生した際にどう行動したらよいかを学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		72-73	6. 応急手当の意義と基本	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義 救命の連鎖 ・応急手当の基本 心肺蘇生、AED 実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ応急手当が必要あるのかを理解できた。 ・いざという時にどのように行動したら良いかを学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		78-79	7. きずの手当て	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなきずの手当て さまざまな手当て 止血法 包帯法 熱中症の手当 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で起こるきずの手当てについて学んだ。 ・止血の方法を理解できた。 ・骨折、脱臼、捻挫の違いとその手当てについて理解できた。 ・熱中症の手当について理解できた。 	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期期末考査	健康な生活と病気の予防	86-87	1. 健康の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・主体の要因と環境の要因 ・健康の成り立ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康が成り立っている要因と環境の関係を学んだ。 ・さまざまな環境要因によって影響を受けていることを学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		88-89	2. 運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の効果と必要性 ・健康づくりのための運動の行い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な体作りに不可欠な運動の効果を理解できた。 ・健康作りのためには、どのような運動が良いかを考える。 	<input type="checkbox"/>
		90-91	3. 食生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費と食事 ・規則正しい食生活 中学生期で気を付けたい食生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な体作りのために食事の内容を振り返って考えてみる。 ・中学生期の食生活を見直し、生活リズムも考えながら規則正しい食生活を理解できたか。 	<input type="checkbox"/>
		92-93	4. 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の疲労とストレス 疲労の種類 ・休養、睡眠のとり方 消極的休養 積極的休養 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常で感じる疲労やさまざまな疲労について学んだ。 ・疲労を軽減するための方法や休養の取り方で大きく疲労 	<input type="checkbox"/>
		94-95	5. 生活習慣病とその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とは 高血圧 動脈硬化 糖尿病 がん 心臓病 脳卒中 ・生活習慣病の予防 健康増進、発病予防 早期発見、早期治療 社会的環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とは、どのような病気があるのかを学んだ。 ・生活習慣から多くの病気が引き起こされることを理解できた。 ・循環器の病気の起こり方について理解できた。 ・がんを防ぐための生活習慣を学んだ。 ・生活習慣病を予防するための生活習慣を学んだ。 ・病気に対する予防としての方法を学んだ。 	<input type="checkbox"/>
		100-101	6. 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の健康への影響 ・未成年者の喫煙の害 ・周りの人への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・数多くの健康被害をもたらす有害物質と依存性について学習し、未成年者の心と身体の発育・発達期に与える影響と周囲への健康被害を説理解できた。 	<input type="checkbox"/>
		102-103	7. 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒の健康への影響 ・長期間にわたる多量の飲酒の害 ・未成年者の飲酒の害 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコールが与える脳への影響と依存性を考えさせ、未成年者の心と身体の発育・発達期に長期間にわたる影響を理解できた。 	<input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3 学期学年末考査	健康な生活と病気の予防	104 -105	8. 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用と薬物依存 ・薬物乱用の害 ・薬物乱用の社会への悪影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物を使用すると依存性が残り、薬物使用することによる依存症でさまざまな健康障害があることを理解できた。 ・薬物を使用することにより犯罪や事件、事故となることが増加していることに加え、社会への適応ができなくなることを学習できた。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		106 -107	9. 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の要因 ・社会的環境の要因 ・防止対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味やたった1回の使用で健康障害や依存症となることを理解した。 ・テレビや映画等のマスメディアの影響により興味を持ってしまうことの誤りを理解できた。 ・法律、警告表示、宣伝・広告規制、自販機の制限などによる活動を説明上手にストレスや不安などを対処して薬物に手を出すことがないように理解できた。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		110 -113	10. 感染症とその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症 ・感染症の予防 ・体の抵抗力について 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、さまざまな感染症が人間社会の猛威をふるっている現状を知り、どう予防したら良いかを考える。 	<input type="checkbox"/>
		114 -171	11. 性感染症とその予防／エイズ	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症 ・性感染症の予防 ・エイズとその予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な性感染症といまだに増え続けているエイズの現状や予防策を学ぶ。 ・エイズに対する偏見や患者に対する理解を深めることを学ぶ。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		118 -119	12. 保健・医療機関の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・保健機関・医療機関とその予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療機関の役割と利用の仕方を理解できた。 ・自分が住んでいる地域で施設を知ることができた。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		120 -121	13. 医薬品の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の作用 ・医薬品の正しい使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の作用と正しい使い方を知り、正しい使い方を理解できたか。 	<input type="checkbox"/>
		122 -123	14. 共に健康に生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を守るための社会的活動 ・みんなの健康を守るために 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の健康を守るために地域で行われている活動が理解できたか。 ・みんなの健康を守るためにできることを考えた。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1組～4組	教科	技術・家庭	科目	技術
				単位数	0.5
「学び」の目標とねらい	プログラミングは、「考える力」「問題解決能力」を身につける分野。失敗しても何度でもチャレンジして正解を導き出そう。				
教材	技術・家庭(技術分野)				
副教材等	ファイル(中1・中2の時のもの)				

1. 学習内容

中1・中2の時と同様、技術と家庭科を交互にやっていますが、時間数が週に1時間になります。ガイダンスの際に、予定表を配りますので、それにしたがって準備するようにしてください。なお、やむを得ない休校などがあった場合には、予定が変更になることがあるので、連絡をよく聞くようにしてください。

3年生では、通年を通して、「情報に関する技術」を学習します。様々なところで活躍している機械類がすべてプログラミングで制御されていることを知り、制御の仕組みや考え方を覚え、自分で機器を制御できるようにしていきます。プログラミング制御において、失敗はつきものですが、その失敗を「なぜ失敗したのか」を考え、次につなげることが大切です。

2. アドバイス

成績は、技術・家庭科として、技術分野と家庭分野を50点ずつ足した、100点満点で出ます。学習内容はそれぞれ全く違いますが、評価は一緒で出てくるので、両方しっかりと取り組むようにしましょう。

定期テストは、1学期期末テスト、2学期期末テスト、学年末テストの3回行います。中間テストは行いません。試験範囲はファイル中心なので、日頃からプリントをしっかりと管理するようにしましょう。また、実習の内容についても出題されるので、人任せにせず、積極的に参加するようにしましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期テスト ・ ファイル提出 ・ 授業を受ける姿勢 ・ 問題解決能力

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	情報に関する技術	218	生活の中にある制御	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会で活躍するロボット、ロボットの種類、ロボットが動く仕組み ● タブレットを使ったプログラミング作成、プログラムの転送・保存 ● ロボットの操作に慣れる。 ● 前回のプログラムを使い、より発展した課題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● マインドストームの仕組み・動かし方を知る。 ● タブレットによるプログラミングの方法を知る。 ● ロボット試走(前進・後進・カーブ・右折・左折・回転など) ● プログラミング制御で迷路を脱出するプログラムを考える。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				<ul style="list-style-type: none"> ● 超音波センサーの役割、身の回りのロボットで使われているセンサーを考える。 ● カラーセンサーの役割、身の回りのロボットで使われているセンサーを考える。 ● ジャイロセンサー・タッチセンサーの役割、身の回りのロボットで使われているセンサーを考える。 ● ミッションをクリアする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 超音波センサーを使って、壁に当たらないように動き回るプログラムを考える。 ● 色を識別して、黒線を通過したら回転するプログラムを考える。 ● 迷路を脱出する(ジャイロセンサー・タッチセンサーを利用) ● 班で協力してミッションをクリアしていく。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3学期	情報に関する技術	192	情報モラル	● 情報モラル(SNS)	● ビデオを見て、SNSについて正しく理解する。	<input type="checkbox"/>
		198	情報モラルと知的財産	● 情報モラル(著作権)	● ビデオを見て、著作権について正しく理解する。	<input type="checkbox"/>
		235	情報社会を生きるために	● テクノストレスやコミュニケーションについて正しく理解する。	● ビデオを見て、情報モラルについて正しく理解する。	<input type="checkbox"/>

2020年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	3年1～4組	教科	技術・家庭	科目	家庭分野
				単位数	0.5
「学び」の 目標とねらい	自分の生活を振り返って、背景にある原理や仕組みを理解し、よりよい生活を創造するために、知識や技術、自分なりの考え方、価値観を育もう。				
教材	技術・家庭 家庭分野(教育図書)				
副教材等	【必携】家庭ノート、ファイル(両方中学1年生のときに配布済) 【あると便利なもの】				

1. 学習内容

自分の人生や生活を深くみつめます。よりよい生活とはどのようなものかを実践的・体験的な学習活動を通して考え、生活の自立を目指します。中学校家庭科は「自分の生活について考える・体験する・身に付ける」をテーマにしています。

2. アドバイス

- 1 真剣に自分自身と向き合うこと
- 2 あらゆるものに興味を持って取り組むこと
- 3 ものごとに対してより深い思考・判断ができ、それを表現できるようになること

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点(課題、ノート、製作作品、授業に取り組む姿勢)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期期末考査	消費生活と環境	230-257	わたしたちの消費生活	いろいろな販売方法・支払方法 買い物の契約とトラブルと解決方法	いろいろな販売方法や支払い方法を理解する。 契約について理解し、契約により権利と義務が発生することを理解する。 消費者トラブルの解決方法と予防法を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		258-271	家庭生活と環境	消費生活と環境とのつながり いまわたしたちにできること	消費生活と環境とのつながりについて理解し、消費行動が環境に与える影響について考えることができる。 持続可能な社会について関心を持ち、環境に配慮した消費行動について考え、工夫できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2学期期末考査	ひとが育つ	30-51	自分の成長	自分の成長を振り返る	自分の成長に向き合うことができる	<input type="checkbox"/>
			幼児の心身の発達	幼児の心身の発達	幼児の心身の発達を理解することができる。	<input type="checkbox"/>
			幼児の生活	幼児の生活の特徴 幼児の生活習慣	幼児の生活リズムを知り、幼児の食べ物・衣服について理解する。 幼児の生活習慣について知り、社会全体で子どもの成長を支える意識を持つ。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3学期中間考査	ひとが育つ		幼児の遊び	遊びの意味 遊びによって育つもの	子どもにとっての遊びの持つ意味や重要性を理解することができる。	<input type="checkbox"/>
	まとめ		まとめ	家庭科の学びのまとめ	3年間の学びをまとめる。	<input type="checkbox"/>

2020 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	3 年 1～4 組 1 組ハイレベル	教科	外国語	科目	英語
				単位数	6
「学び」の 目標とねらい	様々なジャンルから情報を取り入れ、自分の中で再構築し、自らの意見として外へ発信することができるようにすることで、社会から必要とされる人材になることを目指す。そのための道具としての英語を身につけることをねらいとする。				
教材	『NEW CROWN ENGLISH SERIES 3』(三省堂) 『LANDMARK English Communication I (啓林館)』				
副教材等	【必携】 『めきめき English 3』(浜島書店) 検定教科書 CD(三省堂) 『Talk & Talk 3』(正進社) 『実力完成問題集』(正進社) 『ニュースタディノート』(教育同人社) 『Challenge 英和・和英辞典』(ベネッセ) 『エースクラウン英和辞典』(三省堂) ※プリント管理用に多穴ファイル				

1. 学習内容

学問としての英語ではなく、コミュニケーションツールとしての英語を身につけることを最終的な目標とします。そのためにはまず、しっかりとした文法力、豊富な語彙が必要になります。

文法面では、現在完了形、第 5 文型の文、不定詞の意味上の主語(It for to 構文、want 人 to など)、関係代名詞(主格・目的格、接触節)、分詞の形容詞的用法、間接疑問文、疑問詞 + 不定詞 などについての文法的知識を定着させていきます。

長文問題では、短い時間で文章を読み、内容を把握する力をつける(Word per Minute)を意識、英語的な理解の仕方とともに、語彙を増やしていきます。

会話表現では、丁寧に依頼するなどの敬語表現を覚え、積極的に使えるようにします。

さらに、自ら情報を発信するためには、自分自身の感性を磨き、知識を豊富にしておかなければなりません。自分を高めるために、自分の信念・信条、日本文化、異文化理解、国際協力、世界平和、自然科学、人権問題、コミュニケーションの大切さなど、未来を生き抜くために必要不可欠なトピックを読み、深く考察し、自分自身の考えを構築していくことも大きな目標となります。

最後に他者と積極的に関わろうとする姿勢を養っていきます。文法力や知識があっても、それを発信しようとする姿勢がなければ、宝の持ち腐れとなりかねません。多くの人と積極的にコミュニケーションをとり、相手の意見に耳を傾け、自分の考えを正確に伝え、両者の融合を図ることができるような積極的な姿勢、強い意志を培っていきましょう。

週 6 単位を次のように分けて授業を行います。それぞれの授業の主たる目的をしっかり把握して授業に臨んでください。

●英語 A 4 単位

※ハイレベルクラスは、1 クラス 1 展開、スタンダードクラスは、1 クラス 2 展開(習熟度)で実施。表現の能力(「話すこと」・「書くこと」、理解の能力(「聞くこと」・「読むこと」)の 4 つの力を総合的に養うことを目的とします。教科書の「GET」, 「USE Read」の部分を中心に、問題集(「めきめき English」)を効果的に利用し、しっかりとした文法力を身につけるとともに、長文を読

む力、自分の考えを英語で表現する力(自由作文)を養います。

●英語 B 2 単位

※ハイレベル、スタンダードともに1クラス1展開で実施。1単位はネイティブ教員とのチームティーチング、もう1単位は日本人教員による授業。

<1 単位分>

日本人教員とネイティブスピーカーによるチームティーチングの形態で授業を行います。英語Aで学習したことを「話す」「聞く」を中心に反復練習し、定着させ、コミュニケーションツールとしての英語を身につけるとともに、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養います。『Talk & Talk 3』, 教科書の「USE Speak」, 「Project」を活用しながら、3学期に行われるスピーチコンテストの準備も行っていきます。

<1 単位分>

英語Aで学習したことを「読む」「書く」を中心に反復練習し、定着させるとともに、さらに高度なレベルへと発展させることを目的とします。

問題集や過去問題等を利用し、外部模試や英語検定、付属高校入試問題などに対応できる応用力を身につけていきます。長文問題や文法問題を数多く取り扱います。

2. アドバイス

学年が進むと発音練習で声を出さなくなる人もいますが、英語は言葉です。口から発して初めて意味があり、身につきます。授業中大きな声で発音練習しましょう。その際、英語らしい発音やイントネーションを心掛けましょう。文法事項の学習では、先生の説明をよく聞き、しっかり理解するように努めましょう。習ったことはすぐに使ってみることが知識の定着を助けます。また、外国や外国語、異文化に興味を持ち、自分から進んで学習に取り組みましょう。宿題、課題、朝テスト、小テストなどには真剣に取り組みましょう。

授業で習ったことを知識として定着させるには、繰り返し練習することが大切です。2種類ある問題集のうち『めきめき English』は基礎的な反復練習問題、『実力完成問題集』は少し難易度の高い入試レベルの問題を含んでいます。宿題として出されなくても主体的に問題集を進めるようにしましょう。

英語は「耳から聞いて口から出す」ことを意識して学習すると効果が高まります。教科書準拠のCDを有効に活用しましょう。家庭学習でも、シャドウイングやオーバーラッピングを繰り返し行い、口の周りの英語発音用の筋肉を鍛えましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・平常点(授業態度・小テスト・宿題・課題・実技試験・提出物など)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査			ガイダンス	授業を受ける諸注意	授業の心得, 予習や復習の仕方, 提出物, 課題, 小テストや朝テスト, 定期考査等について説明します。	<input type="checkbox"/>
	日仏の文化交流	11-20	Lesson 2 France -Then and Now	現在完了形(継続用法) フランスと日本の文化交流について書かれた文章を読む。	「(ずっと)～し続けています。」と過去から現在まで継続している状態を表現する言い方を覚えましょう。 for や since を使って, 正しく期間を表すことができるようにしましょう。 「どのくらいの期間～し続けていますか。」と期間を尋ねたり, 答えたりすることができるようにしましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	アナウンス	21	Let's Listen 1	動物園で流れるアナウンスから必要な情報を得る。 -迷子情報 -特別企画の案内 アナウンスで使われる代表的な表現を知る。	動物園などの施設で流れるアナウンスのスタイルを知り, 重要な情報をつかめるようになりましょう。 アナウンスの際によく用いられる代表的な表現を身につけましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	日常生活	22	Let's Talk 2	体調が悪くなった場面で, 病状の質問と説明, また提案とそれに対するお礼をする。	「どうしたのですか。」と相手の体調についてたずねたり, 「～が痛いのです。」と自分の症状について説明することができるようにしましょう。 心配してくれた相手にお礼を言うことができるようにしましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	日本の伝統文化の発信	23-33	Lesson 3 Rakugo Goes Overseas	現在完了形 (完了用法, 経験用法) 英語落語の海外講演をしているきみ江さんに対するインタビューを読んで, 日本文化について考える。	「(もう)～し終わりました。」「(まだ)～し終わっていません。」と, 何かの動作の完了と現在の状況の関連を表現できるようにしましょう。 「～したことがある」という経験を表す用法も理解しましょう。 ★現在完了は過去に始まった状況や行った行動と現在の状況とを結ぶ表現であることに注目。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	インタビュー	34-35	Project 1	先生にインタビューをして紹介記事にまとめる。	インタビューのお手本を聞いてそのスタイルとやり取りを学びましょう。 情報をまとめてプロフィール表を作りましょう。 実際に英語でインタビューを行って情報を集め記事にまとめましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	落語	36	Let's Listen 2	英語落語を聞いて、落語が英語でどのように表現されているかを聞き取る。	落語で使われた単語を聞き取って日本語がどんな英語表現になっているかを確認しましょう。 登場人物についてわかったことをメモしながらまとめてみましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期期末考査	広島 の原爆・ 平和	37-46	Lesson 4 The Story of Sadako	第5文型 形式主語を使った表現 広島 の原爆にまつわる事 実を知り、平和について考 える。	「AをBと呼ぶ。」という意味を表す 第5文型の文を理解しましょう。 「AをBの状態にする。」という意味 を表す第5文型の文を理解しまし ょう。 物語の要約を自分の英語でできる ように練習しましょう。 ★文型と文の要素という考え方の 初歩を知っておきましょう。 ★形式主語や意味上の主語とい う考えかたを理解しましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	ニュース	47	Let's Listen 3	テレビニュースから情報を 得る。 ニュースの英語から「いつ」 「どこで」「だれが」「何をし た」という情報をつかむ。	ニュース英語のスタイルを知り、情 報がどのように伝えられるかを知 りましょう。 実際に英語を聞いて情報を整理 し、「誰が」「なぜ」「どうしたか」ま でつかみとりましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	買い物	48	Let's Talk 3	買い物を する場 面で、店 員との やり取 りに使 う表現 を学 ぶ。	「～して ください ませんか 。」と 丁寧 に依 頼す るこ とが でき るよ うに しま し よ う。 また、 依 頼に 応じ たり、 断 つ た り す る 表 現 を 覚 え ま し よ う。 買 い 物 の 時 に 使 う 表 現 を 覚 え ま し よ う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	生命 の尊 重	49-52	Let's Read 1 Dolphin Tale	300語 を超 える ま と ま つ た 内 容 の 物 語 を 読 む。	ま と ま つ た 内 容 の 英 文 を 読 み、 内 容 を 把 握 す る 力 を つ け ま し よ う。 最 初 の 読 解 に あ た つ て は、 未 知 語 が あ つ て も 前 後 の 内 容 か ら 推 測 す る よ う に し て み ま し よ う。 何 度 か 読 ん で 語 彙 を 増 や し、 ま た 音 読 の 際 に 適 切 な 箇 所 で 区 切 つ て 読 め る よ う に 意 識 し ま し よ う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
夏 休 み			<ul style="list-style-type: none"> ●課題 まとめのワーク/9月模擬試験に向けた準備(過去問題・類題の取り組み) ●夏期講習 1学期の内容の総合問題演習を行う発展講習と、指名制の基礎講習 			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
2学期中間考査	世界のさまざまな地域	53-66	Lesson 5 Places to Go, Things to Do	関係代名詞 (主格・目的格) 世界のさまざまな国や地域 について説明文の読解を 通して知識を深める。 行きたい場所やそこでのし たいことについてスピーチを 行う。	主格の関係代名詞 that の用法を 習得しましょう。 先行詞により関係代名詞 who と which を使い分けられるようにしま しょう。 目的格の関係代名詞 that と which を習得しましょう。 目的格の関係代名詞を省略した表 現(接触節)に慣れましょう。 ★既習の前置詞や不定詞の形容 詞的用法とともに、名詞を後ろか ら説明する「後置修飾」という英 語の基本構造を理解しましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	旅行	67	Let's Listen 4	旅行案内から概要をつか む。 やや長めの案内を聞いて、 全体の概要と必要な情報 を聞き取る。	ツアーガイドによる説明を聞いて、 名所・旧跡の概要をつかみ取りまし ょう。 スケジュールの説明を聞いて必要 な情報をまとめましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	アメリカの公民権運動	69-81	Lesson 6 I Have a Dream	現在分詞の形容詞用法 過去分詞の形容詞用法 接触節 キング牧師とローザ・パー クスの話を読んで、アメリカ の公民権運動について知 り、人権について考える。	「現在分詞＋語句」を使って名詞を 後ろから修飾する表現を覚えまし ょう。 「過去分詞＋語句」を使って名詞を 後ろから修飾する表現を覚えまし ょう。 名詞の後ろに直接「主語＋動詞～」 を続けて、後ろから修飾する表現を 覚えましょう。 ★これらは目的格の関係代名詞を 省略した形です。復習しておきま しょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	有名なスピーチ	82	Let's Listen 5	スピーチを聞いて話し手が 伝えたいことを聞き取る。	長い文でも話し手にわかりやすくな るように、意味のかたまりで切りな がら読むなどの工夫を知ろう。 お手本のスピーチを音読して、長い 文章を読む練習をしましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
2学期中間考査	食事	83	Let's Talk 4	食べ物や飲み物を丁寧にすすめる表現とその答え方を学ぶ。	「～はいかがですか。」と相手に飲み物や食べ物を丁寧に勧める表現を覚えましょう。 すすめに応じたり、断ったりする表現を覚えましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	日本文化紹介	84-85	Project 2	絵や写真を見せながら、日本文化を Show & Tell で紹介する。	文化紹介の Show & Tell のお手本を聞き、そのスタイルを学ぶ。 紹介したい日本文化を1つ選び、そこからアイデアマップを作成する。 Show & Tell の原稿を書き、実際に紹介をしましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
2学期期末考査	英語を学ぶ意義	87-98	Lesson 7 English for Me	want + A + to do 間接疑問文 “English for Me” というテーマの新聞の投稿記事を読んでそれぞれの人と英語との関わりを知る。 自分と英語との関わりについて考える。	「A に～してほしい。」という表現と、同じ語順をとることができるいくつかの動詞を覚えましょう。 文のパーツとして疑問文の内容が組み込まれる形(間接疑問文)を理解しましょう。 間接疑問文は特に語順に気をつけて練習し身につけましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	電話での応答	99	Let's Talk 5	家や会社などに電話するときに使う表現を学ぶ。 丁寧に依頼したり確認・承諾したりする表現を学ぶ。	(個人の携帯電話ではなく)家や会社などの電話で取次ぎを依頼するときや不在のときなどに使う表現を練習し身につけよう。 承諾したり確認したりする表現を身につけましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	歌	100	Let's Listen 6	英語の歌を聴いて歌詞の内容を理解する。	英語の歌を聴いて、登場した単語をできるだけ多くつかみ取ろう。 単語の発音と音やリズムの関係に注意しながら、読んだり歌ったりしてみよう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
冬休み			<ul style="list-style-type: none"> ● 課題(中学での学習内容をまとめたワークブックや付属高校入試の過去問題等) ● 冬期講習 中学学習事項の総合問題演習を行う発展講習と、指名制の基礎講習 			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
3学期学年末考査	ディスカッション	102-103	Project 3	大都市での生活と大都市から離れた地域での生活をテーマに考えをまとめ、ディスカッションを行う。	<p>お手本の意見を聞いてその内容や主張をまとめましょう。</p> <p>さまざまな意見をふまえたうえで自分の意見を整理し英語で書いてみましょう。</p> <p>友だちの意見を聞き、そこに自分の意見をつなげて伝えましょう。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	創意工夫・社会貢献	104-107	Let's Read 2 We Can Change Our World	400 語レベルのまとまった内容の物語を読む。	<p>まとまった内容の英文を読み、内容を把握する力をつけましょう。</p> <p>最初の読解にあたっては、未知語があっても前後の内容から推測するようにしてみましょう。</p> <p>何度か読んで語彙を増やし、また音読の際に適切な箇所区切って読めるように意識しましょう。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	人物理解	108-111	Let's Read 3 The Story of Nishikori Kei	500 語レベルのまとまった内容の物語を読む。	<p>まとまった内容の英文を読み、内容を把握する力をつけましょう。</p> <p>最初の読解にあたっては、未知語があっても前後の内容から推測するようにしてみましょう。</p> <p>何度か読んで語彙を増やし、また音読の際に適切な箇所区切って読めるように意識しましょう。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
3学期学年末考査	スピーチコンテスト	-	-	スピーチコンテスト参加	Project で学んだ知識や技術を振り返りながらスピーチを作り発表しましょう。 代表に選ばれた生徒と司会者は大舞台上で自信を持って自分の英語を発表し、貴重な経験をしましょう。 他の生徒は友だちや先輩の発表をよく聴いて理解に努めましょう。 また良き聴衆としてのマナーを実践しましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	進学準備	6-9	高1教科書 Preparatory Lesson 1-4	文の要素 品詞 句と節 フレーズリーディング	中学での学習内容を、高校の学習で必要となる視点で復習しましょう。 文の骨格となる要素にはどのようなものがあり、そこにはどんな品詞の語が入るのかを理解しましょう。 「句」「節」の概念を知りましょう。 英語をフレーズのかたまりでとらえて前から順に理解する練習をしましょう。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
春休み			<ul style="list-style-type: none"> ●課題 『まとめのワーク』 ●春期講習 中学学習事項の総合問題演習を行う発展講習と、指名制の基礎講習 			